

# ART project

## GEIBUN オープンエアミュージアム in 環水公園

2014年度の取り組み

富山大学芸術文化学部准教授 渡邊 雅志



「誕生日のテーブル Ver.2014」



「GEN」

### 趣旨

富山県と富山大学は、「富山県と国立大学法人富山大学との連携に関する協定書」により連携協力を行っています。その一環として、富山大学芸術文化学部の学生および教員の作品を、富山県の代表的な公園である富岩運河環水公園に展示する「GEIBUNオープンエアミュージアム in 環水公園」を2010年より開催しています。富岩運河環水公園を利用される多くの市民の方々に、豊かな緑あふれる公園の中で芸術文化学部の作品に触れる機会を提供し、公共空間に現れた様々な作品を通じて、日常にある驚きや楽しさ、そして喜びを実体感していただきたいと考えています。この取り組みが、芸術文化が社会や環境そして人々に豊かな創造性を伝え、日常生活に潤いを与える力があることに気がつき、今後の富山の新しい魅力として繋がっていくことを願っています。

### 2014年度の取り組み

開催日：2014年9月13日（土）～10月12日（日）

会場：富岩運河環水公園

主催：富山大学芸術文化学部 後援：富山県

出品数：野外展示26点、屋内展示20点の計46点

### 出展作品

「クモの巣プロジェクト」

公園内に巨大な「クモの巣」を公開制作する本作品は2012年から恒例のオープニングイベントとなっています。作品が出来上がっていくさまを来園者に見ただくことで、完成された作品を鑑賞するだけでは感じられない作家や作品の動きを目の当たりにします。いつの間にか傍を通る子どもたちがクモの巣に入り込み、作品は鑑賞から体験する作品に変わります。クモの巣に入った子どもたちが、クモがあるいは捕まった昆虫のように感じられた瞬間、子どもたちが作品の一部になっていることに気がつきます。

森田志宝、江越知比呂、山本祥代、Art for all（芸術文化学部アートイベントサークル）、齋藤晴之（芸術文化学部教授）

「誕生日のテーブル Ver.2014」

後藤敏伸（芸術文化学部教授）

「GEN」

齋藤晴之（芸術文化学部教授）

「表出 一水の記憶から」

中村滝雄（芸術文化学部教授）

「環境造形（立体）」

野尻恵梨華、増田美紗希、木ノ内涼香、佐藤由季、新井智子、森本倫子

「ショーケースプロジェクト」

透明なアクリルケースに入れられた作品が展望塔の中にちりばめられています。

野尻恵梨華、森富花、大畑有結子、城村美涼、平澤紗英、吉田愛美、井澤郁子、浜屋友実、松村季依

「HAPPINESS BIRD PROJECT」

園内にバードカービングで制作された架空の鳥を設置し地図を片手に散策しながら発見する作品。展望塔内には鳥のかたちのカードに自由に鳥の柄を描いてもらうブースも設置。集まった鳥のカードは700枚。

学生有志、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）

「金魚と錦鯉」

学生有志、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）

### ワークショップ

会期中の週末には公園内でワークショップを開催しています。園内に設置されている作品を鑑賞することの他に、来園者自ら作品をつくる体験を提供する事で、よりアートやデザインに関心を持つことに繋がり、思い出としても本展の印象を持ち帰っていただきたいというねらいがあります。



「表出ー水の記憶からー」



「スーパートマト」



「アデニューム」



「HAPPINESS BIRD PROJECT」

### 「葉っぱのぬいぐるみ」

透明の袋に園内で拾った葉っぱを詰めてぬいぐるみを作ります。普段あまり気に留めない葉っぱが材料になり、色や形がぬいぐるみの模様になります。

森田志宝、江越知比呂、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）



「葉っぱのぬいぐるみ」何に見える？想像が膨らみます

### 「夢りんごプロジェクト」

りんごの絵馬に夢を描き公園の木に結びます。会期中に150枚の絵馬が描かれ、来園者は木に“生る”りんごに描かれた様々な願い事を読む（見る）ことが出来ます。

Art for all（芸術文化学部アートイベントサークル）、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）



「夢りんごプロジェクト」ピクニック気分で願い事を描きます

### 「木っぱでキーホルダー」

木っぱ（木片）やどんぐり、貝殻、木の枝などでキーホルダーを作ります。自然豊かな公園でのワークショップなので自然素材が材料です。

Art for all（芸術文化学部アートイベントサークル）



「木っぱでキーホルダー」杉の作業台の上で工作をします

### 「似顔絵バッジ」

芸術文化学部の学生が似顔絵を描き、すぐにバッジに仕立ててその場でプレゼントします。世界にひとつだけのバッジが目の前で出来上がる即興性は、どこかマジックに似た驚きと楽しさがあります。

大和真吏奈、野尻恵梨華、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）



「クモの巣プロジェクト」作品が遊び場になります



「似顔絵バッジ」似ているとみんな笑顔になります